

年休取得が大きく前進！

一人一人が声をあげなければ状況は変わらない

私たちは、運輸所で昨年の年度末に大量の年休失効が発生した事態を大きく問題にして、年休を希望した日に付与せよ・年度末の大量失効を許さない・入らない年休の時季変更を明確にせよと要求して闘ってきました。

その結果、今年の年度末の年休失効は東一運分会では2名（9日）、東二運分会では3名（14日）でした。昨年度は東一運5名（17日）、東二運12名（49日）でしたから大きく改善されたといえます。闘いの成果です。

しかし、私たち東海労にとっては改善であっても、東海ユニオン・国労の組合員のみなさんは改善されているのでしょうか？もしかしたら、休日出勤が増えていたり、年休失効が増えたりしてないのでしょうか？

運輸所全体の年休取得を改善するためには要員拡大が実現されなければなりません。そのためには、私たち東海労だけでなく東海ユニオン・国労のみなさんも声をあげることが必要です。

何で年休が入らないのか。年休が入らなければいつ付与してくれるのか。年休が流れるということは時季変更ではなく年休付与を拒否することである。要員配置を増やせ！休日出勤をやめよ！

みんなで声をあげようではないですか！